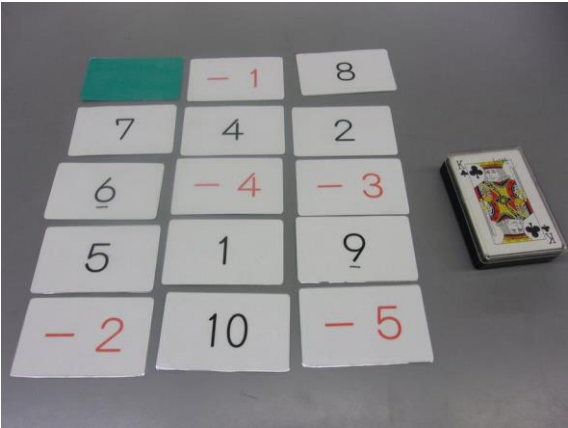


自作教具の活用事例

【作品名】 計算ゲームカード	【学校名】 日立市立河原子小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動 指導内容 3・(4)集団への参加の基礎 算数 たし算・ひき算	【制作者名】 庄司 崇
【制作の意図】 担当する特別支援学級(自閉・情緒)に、コミュニケーションを上手にとることが苦手な児童がいるため、「聞くこと」「話すこと」の力をつけさせたいと考えた。	【使用方法】 ① 手札(トランプ)を1枚出し合い、数字の大きさをくらべながら得点カードを取り合う。 ② 手に入れたカードを合計して(黒はたし算、赤はひき算)得点を決め、勝敗を競う。
【制作上の工夫】 ① 「接続詞」カードには、意味と使い方の例を記載し、正しく使い、覚えられるようにした。 ② カードをラミネートし、丈夫にした。	【見取り図】 表面 得点 10点～ －5点 裏面 色画用紙
【写真】 	【使用効果と応用発展】 1けたのたし算・ひき算の計算に、カードを引くというゲーム性が加わり、児童は意欲的に取り組むことができた。 4人までのグループで取り組むゲームなので、ルールを理解し、友達と楽しく活動しようとする意識を高めることができた。 - 得点カードを1～9までとして、九九の練習に活用することが考えられる。
【材料・材質・部品等】 - 得点カード(黒字はたし算、赤字はひき算) 裏面に色画用紙を重ね、ラミネート加工 - 手札(トランプを流用)	